

## 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	伊藤 宏一
研究課題	エシカル経済とサステナブル・ライフプランニング及び金融教育の国家戦略				
研究キーワード	サーキュラー・エコノミー、サステナブル・ライフプランニング、金融教育の国家戦略、金融ウェルビーイング	当年度計画に対する達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	12. つくる責任 つかう責任	13. 気候変動に具体的な対策を	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2022 年度は、以前から私が研究を進めてきている金融教育に関して、日本政府が金融リテラシー向上のため、「金融経済教育推進機構」を政府の認可法人として 2024 年 4 月に設置し、金融経済教育を広く提供し、それによって国民の資産形成を総合的に推進することが決められたのが大きな出来事であった。</p> <p>そのため年度の前半は主に前年から継続しているサーキュラー・エコノミーとサステナブル・ライフプランニングに関する研究を行い、後半は、我が国における金融教育の国家戦略に関する研究と報告・セミナーを進めることとなった。</p> <p>また本年も、私の研究領域と関連する分野として、サーキュラー・エコノミーとシェアリングエコノミーを併せて「エシカル経済」とし、大学のサイトに発表することができた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p><b>【論考】</b></p> <p>(1) 「サステナブル・ライフプランニングー金融教育の視点から」及び「人生 100 年時代とミドル期の資産形成」(『2041 年、資産形成をすべての人に けん引役は団塊ジュニア世代~8 つの Action と 12 のアイデア』2022 年 7 月 12 日 すべての人に世界の成長を届ける研究会 一般社団法人 投資信託協会) <a href="https://www.toushin.or.jp/statistics/Tsumiken/hokokusyo/">https://www.toushin.or.jp/statistics/Tsumiken/hokokusyo/</a></p> <p>(2) 「金融リテラシーについて」(『きずな』第 4 0 号千葉商科大学同窓会情報誌 2022 年 10 月 28 日発行千葉商科大学)</p> <p><b>【学会研究報告等】</b></p> <p>(1) 研究報告「2 つの循環経済(サーキュラー・エコノミー)と生活におけるサステナビリティの確保」2022 年 6 月 5 日 (生活経済学会第 38 回研究大会)</p> <p>今日、近代的なりニア(線型)経済をサーキュラー(循環)経済に変えることが、企業経済活動において進められつつある。他方、我が国では従来から、循環経済モデルにより地域循環共生圏の構築が推進されてきた。これらを統一的に把握し、企業活動・地域経済共にサーキュラーをキーワードとした経済への転換により、気候危機・人口減少というサステナビリティ問題を克服する道を、ケーススタディを通して検討した。</p> <p>(2) 研究報告 生活経済学会関西西部会 2022 年 12 月 3 日 テーマ「金融教育の国家戦略と日本 FP 協会の役割」</p> <p>(3) 講演 テーマ「高校生に対するパーソナルファイナンス(金融)教育の重要性」8 月 23 日 高等学校教職員向けセミナー(主催 日本 FP 協会)</p>					

(4)パネル討論コーディネーター・司会 テーマ:「日本株式インデックスの課題と新株価指数について」 日本FP学会第23回大会 2022年9月3日

報告①:川北 英隆氏(京都大学名誉教授)「日本の株式インデックスの課題と対応-長期投資の視点から」報

告②:宇野 陽子氏(ニッセイアセットマネジメント)「日本の株式インデックスについて」

報告③:中野晴啓氏(セゾン投信)「運用サイドから提起するインデックスの正当性」

(5)講演 テーマ「金融教育の国家戦略と CFP®・AFP 認定者の役割」2022年10月30日(日本FP協会パーソナルファイナンス教育セミナー)

(6)講演 テーマ「我が国における金融教育の国家戦略化と中立的アドバイザー問題」2023年2月4日(日本FP協会パーソナルファイナンス教育セミナー)

※なお(5)並びに(6)については、OECD 並びに英米政府における金融教育の国家戦略に関する調査・分析・解釈が含まれている。

#### 【その他】

(1)オンライン講座:『エシカル経済(Ethical Economy)』

(<https://awake-and.com/blog/course/ethical-economy/2021/5~>)

(2)特集記事『エシカル経済-アフターコロナの世界を動かす新しい原理』(千葉商科大学 MIRAI Times)

第3回(2022年4月18日)「エシカル経済実現の手段」

[https://www.cuc.ac.jp/om\\_miraitimes/special/u0h4tu00000038m0.html](https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu00000038m0.html)

第4回(2022年11月4日)「サーキュラーエコノミーの社会実装」

[https://www.cuc.ac.jp/om\\_miraitimes/special/u0h4tu0000002wf4.html](https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000002wf4.html)

3. 主な経費

特になし

4. その他の特筆すべき事項(表彰、研究資金の受入状況等)

特になし